

## 事業量の見込

## I-1. 児童数の推計

平成23年から平成26年までの住民基本台帳人口の実績により、コーホート法(※)を用いて人口推計を行うと下表のようになります。市の総人口については、増加率は低くなりますが、増加傾向が続きます。

この中で、0歳児から11歳児までの児童数も微増します。

※コーホート法：過去の年齢別・性別人口、母親の年齢階級別出生率、出生者の男女比などを用いて将来人口を算出する方法

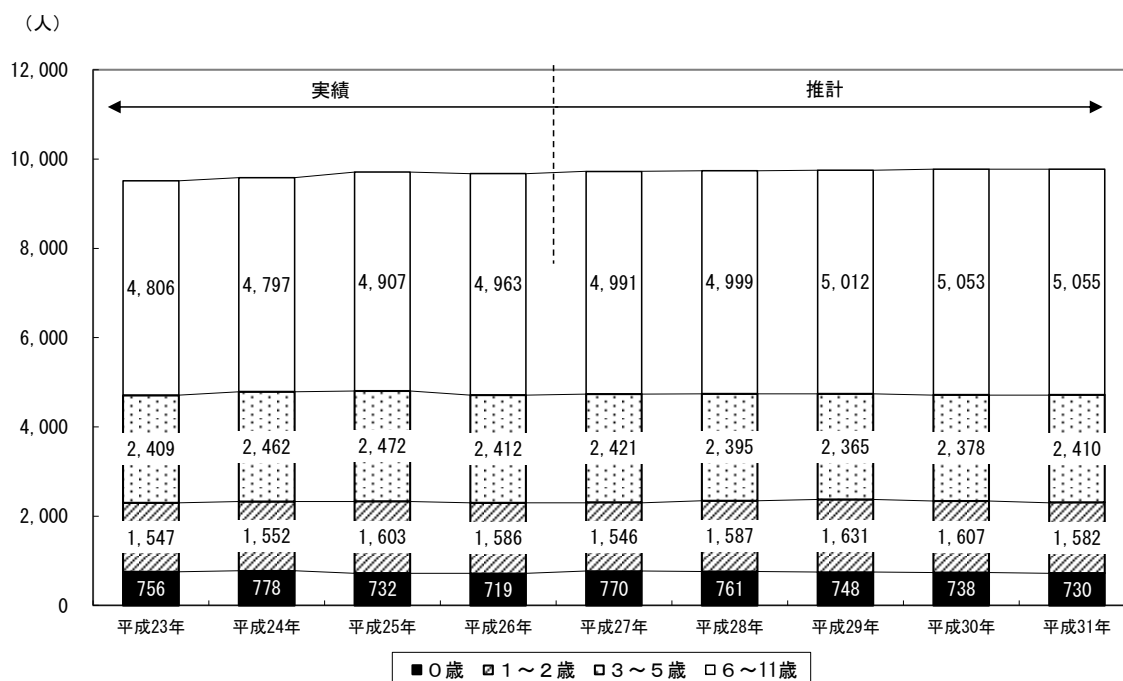
### ■児童数の推計

(単位:人)

	年齢区分	実績(年度)				推計(年度)					
		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
人口	実数(人)	68,600	69,552	70,955	71,655	72,410	73,139	73,785	74,524	75,185	
	増減率(%)	—	1.4	2.0	1.0	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	
児童数	実数(人)	0歳	756	778	732	719	770	761	748	738	730
		1～2歳	1,547	1,552	1,603	1,586	1,546	1,587	1,631	1,607	1,582
		3～5歳	2,409	2,462	2,472	2,412	2,421	2,395	2,365	2,378	2,410
		6～11歳	4,806	4,797	4,907	4,963	4,991	4,999	5,012	5,053	5,055
		計	9,518	9,589	9,714	9,680	9,728	9,742	9,756	9,776	9,777
	増減率(%)	0歳	—	2.9	-5.9	-1.8	7.1	-1.2	-1.7	-1.3	-1.1
		1～2歳	—	0.3	3.3	-1.1	-2.5	2.7	2.8	-1.5	-1.6
		3～5歳	—	2.2	0.4	-2.4	0.4	-1.1	-1.3	0.5	1.3
	前年5年対比	6～11歳	—	-0.2	2.3	1.1	0.6	0.2	0.3	0.8	0.0
		計	—	0.7	1.3	-0.4	0.5	0.1	0.1	0.2	0.0

資料：住民基本台帳人口(4月1日)、平成26年度は1月31日

### ■児童数の推移

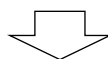


## I - 2. 見込量の検討

### 1. 教育・保育の支給認定区分

子ども・子育て支援法（第19条）によって、教育・保育の支給認定は次のように区分されています。

区 分	定 義
1号認定	満三歳以上の小学校就学前子ども（次項除く）
2号認定	満三歳以上の小学校就学前子どもであって、保護者の労働又は疾病その他の内閣府で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの
3号認定	満三歳未満の小学校就学前子どもであって、前号の内閣府で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの



上記を要約したもの

区 分	年 齢	保育を必要とするかどうか	対応する事業
1号認定	3歳以上	保育を必要としない	認定こども園 幼稚園
2号認定	3歳以上	保育を必要とする	認定こども園 保育所 地域型保育
3号認定	0歳児	保育を必要とする	認定こども園 保育所 地域型保育
	1～2歳児	保育を必要とする。	認定こども園 保育所 地域型保育

## 2. 見込量推計

将来の児童数及びニーズ調査によって、見込量は下表のように推計されます。

子ども・子育て支援事業計画策定時に、事業種別（認定こども園、幼稚園、保育所、地域型保育）に提供体制の検討を行います。

### (1) 教育・保育（子ども・子育て支援給付）

#### 1) 実績

(単位：人)

年度 認定区分	施設毎現在の利用状況（H26. 4. 1時点での見込）				
	1号	2号		3号	
		幼児期の学校教育の利用希望が強い	3～5歳	0歳	1、2歳
幼稚園	1,347	/			
認定こども園（幼稚園部分）	0				
認定こども園（保育所部分）		0	0	0	
保育所		982	196	575	
小規模保育、事業所内保育等(*)		52	21	79	
計	1,347	1,034	217	654	

(\*) 子ども・子育て支援新制度における地域型保育給付の対象となると見込まれるもののみ

#### 2) 見込量

##### ① 国のワークシートによる推計

(単位：人)

認定区分	1号	2号		3号	
		幼児期の学校教育の利用希望が強い	それ以外	0歳	1、2歳
年度別、量の見込み					
H27年度	805	1,289		378	781
		298	991		
H28年度	796	1,275		374	802
		295	980		
H29年度	786	1,259		368	824
		291	968		
H30年度	790	1,266		363	812
		293	973		
H31年度	801	1,283		359	799
		297	986		

※認定区分の内訳は次のとおり

1号：3～5歳 学校教育のみ  
性あり

2号：3～5歳 保育の必要性あり

3号：0歳～2歳 保育の必要性あり

- ・ 1号と2号（幼児教育の利用希望）の計1,098人（平成31年）が見込まれます。
- ・ 3号（保育を必要とする3～5歳児）は、実績とほぼ同じです。
- ・ 3号（保育を必要とする0歳児）は、平成31年で359人であり、実績より多くなっています。
- ・ 3号（保育を必要とする1～2歳児）も、実績より多くなっています。

② 見込量

教育・保育の実績を考慮して次のように見込ます。

(単位：人)

認定区分 年度別、量の見込み	1号	2号		3号	
		幼児期の学校教育の利用希望が強い	それ以外	0歳	1、2歳
H27年度	800	1,300		380	780
		300	1,000		
H28年度	800	1,300		370	800
		300	1,000		
H29年度	800	1,300		370	800
		300	1,000		
H30年度	800	1,300		370	800
		300	1,000		
H31年度	800	1,300		360	800
		300	1,000		

※認定区分の内訳は次のとおり  
1号：3～5歳 学校教育のみ  
性あり

2号：3～5歳 保育の必要性あり

3号：0歳～2歳 保育の必要性あり

## (2) 地域子育て支援事業の見込量

### 1. 時間外保育（延長保育）

(単位：人数)

	現在の利用状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	278	280	290	290	300	300

- 事業の説明 ・ 保育所等の延長保育
- 実績の算出方法 ・ 保育所の延長保育の利用者数（実数）
- 見込みの算出方法 ・ 現在の利用状況を踏まえて算出する

### 2. 放課後児童クラブ（なかよし会）

後日報告

### 3. 子育て短期支援事業（ショートステイ）

(単位：人日)

	現在の利用状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	13	15	15	15	15	15

- 事業の説明 ・ ショートステイ
- 実績の算出方法 ・ 平成25年度実績
- 見込みの算出方法 ・ ニーズ調査による

### 4. 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

(単位：人日)

	現在の利用状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	1,189	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800

- 事業の説明 ・ 地域子育て支援センター事業
- 実績の算出方法 ・ 利用の延べ人数（1か月あたり）
- 見込みの算出方法 ・ ニーズ調査による

5. 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

（単位：人日）

		現在の利用状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の 見込	①1号認定による利用		560	550	550	550	560
	②2号認定による利用		60,000	60,000	60,000	60,000	60,000

- 事業の説明
  - ・①1号認定：保育を必要としない在園児の預かり保育
- 実績の算出方法
  - ・①2号認定：保育を必要とする在園児の預かり保育
- 見込みの算出方法
  - ・ニーズ調査による

6. 一時預かり事業（在園児対象型を除く）、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業を除く）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

（単位：人日）

		現在の利用状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み			45,500	45,500	45,500	45,500	45,500
一時預かり事業 (在園児対象型を除く)		2,981					
子育て援助活動支援事業 (病児・緊急対応強化事業を除く)							
子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)							

- 事業の説明
  - ・幼稚園の一時預かり、保育所の一時預かり等
- 実績の算出方法
  - ・保育所の一時預かりの実績
- 見込みの算出方法
  - ・ニーズ調査による

7. 病児病後児保育、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業）

（単位：人日）

		現在の利用状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み			5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
病児保育事業		25					
子育て援助活動支援事業 (病児・緊急対応強化事業)		0					

- 事業の説明
  - ・病児・病後児保育事業
- 実績の算出方法
  - ・レインボー保育園の利用延べ人数
- 見込みの算出方法
  - ・ニーズ調査による





## 11. 乳児家庭全戸訪問事業

(単位：人数)

	実施状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	2,287	2,464	2,435	2,394	2,362	2,336
同(延人)	3,592	3,942	3,896	3,830	3,779	3,738

- 事業の説明 : 乳児家庭全戸訪問事業
- 実績の算出方法 : 乳児家庭全戸訪問事業の対象者数、のべ訪問件数  
(平成25年度見込は、対象者数：2,287人、延べ人数：3,592人)
- 見込みの算出方法 : 実績から算出する。  
対象者数は、出生一人当たり対象者数を算出して、出生人数にかけて算出  
(出生一人当たり対象者人数は、2,287人÷719人=3.2人で算出)  
訪問延べ人数は、一人当たり訪問件数を算出して、これを出生数に掛けて算出する。(一人当たり回数は、3,592件÷2,278人=1.6件で算出)

## 12. 養育支援訪問事業等

(単位：人数)

	実施状況 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	234	254	251	247	244	241
同(延人)	299	330	326	321	317	313

- 事業の説明 : 養育支援訪問事業
- 実績の算出方法 : 養育支援訪問事業の対象者数(平成25年度は見込みで234人、延べ299人)
- 見込みの算出方法 : 訪問実人数は、平成25年度の出生数一人あたりの訪問件数を、推計した出生数に掛けて算出  
(出生一人当たり件数は、234人÷719人=0.33件で算出)  
訪問延べ人数は、平成25年度の訪問延べ人数を訪問実人数で割って一人当たり訪問件数を算出し、これを毎年度訪問人数に掛けて算出する。  
(一人当たり訪問件数は、299件÷234人=1.3件で算出)